

町民と行政で進める町づくり「ユイコのケアドール事業」

「軽米町 ～結いの道づくり～」

二戸地方振興局土木部

軽米町民と行政が協力して道づくりを進める「ユイコのケアドール事業」が、6月2日から8日にかけて軽米町下新町と蛇口の2地区で行なわれました。同事業には町職員と町民が合わせて約120人参加しました。

下新町地区では、6月2日から6日にかけて軽米八幡宮付近の道路に側溝を設置しました。下新町町内会の住民を中心に約75人が参加。トラックから降ろされた側溝の周りにスコップで碎石を敷きつめる作業のほか、交通整理も住民の手で行なわれました。

蛇口地区では、6月8日、住民約40人が参加して町道蛇口道合線等の道路整備を行いました。砂利を敷き、スコップや重機を使って均すなど、町民と行政が力を合わせ「結いの道づくり」が行なわれました。

「結いの道づくり」は、平成16、17年度に、二戸地方振興局と軽米町が住民に呼びかけて、住民協働で実施した二級河川雪谷川の管理道整備から端を発しております。その後、「結いの道づくり」は「ユイコのケアドール事業」として軽米町に引き継がれ、現在まで継続しています。

地域が主体性を持ってアイデアを生かしながら地域づくりに取り組むことで、地域力が高まり、愛着を感じられる地域を創造することができる。軽米町ではこの取組みを今後も続けて行くことにしています。

【下新町地区の皆さんによる側溝設置の様子】



住民と町職員が協力して作業が進められました



住民による交通整理が行なわれスムーズに作業が進みました